特集

伊豆の未来を繋ぐ人



「子どもたちに本物に触れる体験を」

さわれる楽器博物館・CAFE OTOGIYA

オーナーご夫妻 菱田光彦さん 浩美さん

光彦さんは、1959 年、東京生まれ。武蔵野美術大学卒業後、ディスプレイの会社勤務を経て、映像制作会社に入社し、テレビ番組、CM 制作等の現場に 35 年携わっていました。
熱川に別荘を所有し週末を過ごしていたものの、コロナによりオンラインでの仕事が 1 年続いた事で思い切って移住。
楽器を集める事になったきっかけは、テレビ企画で採用された「音楽王国」の中で「この楽器なに？」というテーマに取り組まれましたが、低予算のため、自らが楽器を収集し始めたことだといいます。
奥様の浩美さんは、「この人、海外に行っても、お土産買う時間がなかった…とか言いながら、見たこともないような太鼓ひとつ持って帰ってくるんですよ。」と少し苦笑い。
世界各国から集めに集めた楽器の数は 160 種類以上にもおよびます。似たような楽器が世界各国にありますが、その一つ一つには共通点、ルーツがあり、物語があると熱心に話してくれました。
浩美さんも、武蔵野美術大学の出身。
グラフィックデザイナーとして活動しながら、創作活動や投げ入れ（生け花）をライフワークとしていて、最近まで中学生に美術を教えていた事から、今後も創作活動や絵画教室なども展開したいと意欲的です。
お二人に共通している事は、さわれる楽器にしても何にしても、子供たちが「本物」に触れる機会を一つでも多く作りたいということ。
カフェで提供されている食事なども、無農薬、無添加、グルテンフリーなど、楽器の拘りに通じる食への思いを感じる事が出来ました。
個性が際立つ素敵なお店です。是非、お立ち寄りになって下さい。



博物館スペースには世界各国の楽器が所せましと並ぶ♪





光彦さん拘りのカレーは味も日替わりだとか♪



さわれる楽器博物館・CAFE OTOGIYA

〒413-0411　東伊豆町稲取 3009-65　090-2318-4935
AM 11:00～PM8:00　水曜日定休
博物館入館料　大人 800 円、子供（中学生まで）400 円
※伊東、東伊豆、河津、下田の住民は大人 500 円、子供 300 円
※「法人会の会報見たよ」と言って頂いたお客様には割引してくれます！



ジビエで地域をもっと元気に！

「カッコイイ！と思ってもらえる職業にして地域に恩返し」

西伊豆ジビエフード 代表

保苅（ほかり） 優雅（ゆうが） さん

1996年生まれ・横浜市出身。

人懐っこく、笑顔で話す今の彼からは想像が出来ませんが、
保苅さんは子供の頃、人とのコミュニケーションが苦手で、小学５年生から中学２年生までは、学校に行かない「引きこもり」でした。
このままでは…と思い高校に進学するも半年で退学。

人生の転機は「23歳のYouTube」

それからは働きながら定時制を卒業。アルバイトなどする中、23歳の時に見た YouTube 動画がきっかけで、狩猟に興味を持ち、狩猟免許を取得。西伊豆町に移り住みます。

2020 年 12 月から 3 年間は地域おこし協力隊に所属し、獣害被害への対応と共に、今の基礎となる活動を始めます。

捕獲から血抜き、精肉までを一貫して行う施設を確立させ、商品質なジビエ肉として、飲食店などに卸したり、通信販売などでも販路を広げています。

捕獲の際はいつも命懸けです。特にくくり罠にかかった猪は好戦的です。足にかかっていたワイヤーが外れて、突進されたり、噛まれそうになったりしたことも…。

地域への恩返し、そして未来へ

西伊豆町では、人生の恩人ともいえる先輩とも出会い、受け入れてくれた町や人に心から感謝しているそうです。

今後の目標は、「西伊豆のジビエ事業を持続可能な地域産業へと育て上げること」。

命と向き合うこの仕事を、若い世代が「かっこいい！やってみたい！」と憧れる魅力的なビジネスにしていきたいと考えています。
施設の運営や販売などで新しい雇用を生み出し、次世代が西伊豆で誇りをもって働ける「キャリアの選択肢」を増やすこと。
それが私を救い、育ててくれたこの町への一番の恩返しだと信じています。

自然の中に飛び出し、地域の希望にもなっている彼に、本当に頼もしさを感じました。

相棒のワンちゃんと一緒に







ジビエの理解に繋がる活動も積極的に行っている。

西伊豆ジビエフード

メール　nishiizu.gibierfood@gmail.com
ホームページ　http://www.nishiizu-gibierfood.com

ホームページ

YouTube 動画